

私が今回この留学制度を利用したきっかけは、海外での生活を体験してみたかったからです。もともと英語を海外で学習したいという思いがあったのですが、なかなか長期間の留学に踏みこめずにいました。この語学留学は夏休みの 1 ヶ月間を利用して気軽に海外での生活を体験できるので、1 回体験してみてから長期留学をするか考える手段にしようと思い、参加しました。

そこで私がカナダで 1 ヶ月間生活してみて感じたことを、勉強、学校生活、授業外での過ごし方の 3 つについて報告します。

◆ 勉強について

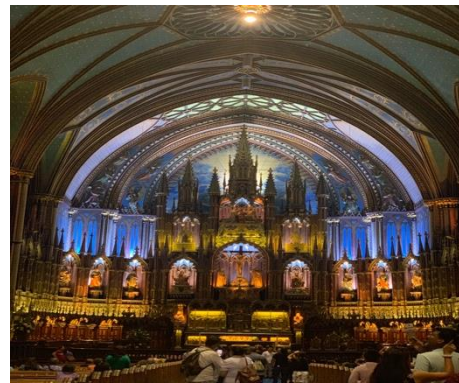
まずカナダについてからテストが行われます。そのテストの結果によって上位クラスは午前授業、下位クラスは午後授業に分けられます。その人のレベルにあった授業を受けられたのすごく良かったと感じました。日本の英語の授業ではしないような、essay の書き方をなったり、グループワークの課題が多く、他の国から留学してきている生徒と英語でコミュニケーションを取る必要があるのも、そのスキルがあがったかなと感じました。クラス自体の雰囲気は良く、日本人生徒もいるので仲良く楽しく受けられたと思います。

● 学校生活について

私は午前授業だったので、授業が終わってから構内にあるフードエリアでよくお昼ご飯を食べていました。学内には多くのご飯屋さんがあり、韓国料理や日本料理、ジャンキーフードやサラダなどもあったので、食が合わなくて食べられないということはなかったです。また学内には大きな図書館があり、夜遅くまでやっているのもそこでグループワークの課題をしたり、図書を借りて勉強したりすることができました。

● 授業外での過ごし方について

午後の自由時間は都心に出て友達と観光をしました。1 ヶ月間だけだったのでつめつめのスケジュールで廻ったので、計画することが大事だと思います。また土日はナイアガラの滝やワンダーランドにオプションで行きました。ナイアガラの滝は圧巻でとても思い出に残っています。また私と友人は自分たちでバスを予約して、モントリオールに 1 日観光し



に行きました。

モントリオールは北アメリカのパリとも呼ばれるほど建物や街並みがパリに似ていて、トロントとはまた違った雰囲気味わうことが出来ました。なかでも、ノートルダム大聖堂は見事でした。同じカナダでも、トロントとモントリオールでは文化も話す言葉も違うので、貴重な体験ができました。

この1ヶ月間カナダで生活をしてみて、日本の良さや、日本にはないカナダの良さに気づくことが出来とても面白い体験ができました。自分の語学の能力は1ヶ月間ではそこまで向上はしませんが、自分の勉強だけでなくその他生活面でのモチベーションが上がったり、英語を勉強したいという思いに火がついてとてもいい刺激だったと思います。この1ヶ月は大学生活の中で1番誇れる時間だと思います。長期休みを利用して自分のやりたいことに挑戦できてとても満足でした。